

# やまがた米だより

No. 2

令和2年9月9日



山形県農林水産部県産米ブランド推進課  
山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部  
山形おいしさ際立つ！米づくりプロジェクト本部

## ブランド化戦略推進本部会議を開催



座長を務める吉村知事



リモート参加の委員からも多くの意見が出されました

7月22日（水）、ホテルメトロポリタン山形にて、令和2年度第1回山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部会議を開催しました。今回は新型コロナウイルス感染症防止対策として、一部の委員はリモート参加となりました。会議では、「つや姫」「雪若丸」の生育状況やこれまでのブランド化に向けた取組み等について報告がありました。その後、令和3年産の「つや姫」「雪若丸」の生産量と作付面積について協議が行われ、「つや姫」は生産量 53,000 t 程度（前年比+1,000 t）、作付面積 9,800ha（前年比+100ha）、「雪若丸」は生産量 22,400 t 程度（前年比+1,400 t）、作付面積 3,800ha 程度（前年比+257ha）に決定しました。

また、コロナ禍におけるSNSなどを活用した効果的な情報発信の強化・充実など、ブランド化に向けた幅広い意見が出され、今後も気を引き締めて取り組んでいこうと出席者全員が認識を新たにしました。

## 実りの秋はもうすぐ…

7月から8月上旬にかけての長雨、8月中旬からは一転して猛烈な暑さの日が続いておりますが、山形県の田んぼでは稲穂が顔を出し、すすくと栄養を蓄えています。

もうすぐ稲刈りです。最高のコメに仕上げ、皆様にお届けしようと、生産者は刈取りの準備を始めています。丹精込めて育て上げた「つや姫」「雪若丸」「はえぬき」をはじめとする山形県産の新米に御期待ください！



みのりが進んだ稲穂



# スマートつや姫実践研修会開催



真剣に話を聴く生産者や関係機関の方々



現地でドローンの説明をする後藤専門研究員

7月3日、天童市で「スマートつや姫実践研修会」を開催しました。「スマートつや姫」とは、スマート農業技術を活用して「つや姫」の品質や食味を向上・安定させる取組みで、今回は人工衛星やドローンの画像を利用した生育診断技術を生産者や関係団体の方々に実際に体験していただきました。

当日は、強風の影響で予定していたドローンのデモンストレーションはできませんでしたが、生育診断システムを開発した茨城県の株式会社ビジョンテック山本代表取締役から他県や海外でスマート農業を実践している事例等についての紹介や、山形県農業総合研究センター後藤専門研究員から実際の解析画像を紹介。天童市近辺の解析画像（生育過剰は赤色、生育不足は緑色などに色分けした画像）を見ながら、参加した生産者からは「うちの田んぼはどだなだべ？」などの質問が出され、実際に映して診断してみると・・・そうだったのか！と予想外の診断に驚いたり、思っていた通りの診断が示されていたりで一喜一憂する生産者もあり、とても有意義な研修会になりました。

ロボットや ICT（情報通信技術）を活用した「スマートつや姫」の取組みが今後県内で広がっていくよう、研修会をきっかけに興味を持っていただければと思います。

## 令和2年7月豪雨に伴う義援金の受付について

山形県では、令和2年7月豪雨で被害を受けられた方々を支援するため、義援金の受付を行っています。

皆様からの温かいご支援をよろしくお願いいたします。なお、お寄せいただいた義援金は、山形県義援金配分委員会において配分を決定し、市町村を通じて被害を受けられた方々にお届けします。

詳しくは山形県ホームページをご覧ください。 <https://www.pref.yamagata.jp>